

## 【祝 叙勲】

## 平成 26 年秋の叙勲受章

瑞宝双光章受章 謹んでお祝い申し上げます。

## 横 山 龍二郎 氏

(50 回生) 昭和 51 年 3 月 卒業  
元岐阜大学医学部附属病院放射線部技師長



## 瑞宝双光章拝受の榮に浴して

## 横 山 龍二郎

私の出身地は長野県の松本市ですが、3年生の秋に就職先を決めるに当たり、地元の就職先を探していましたが、長野県の病院からの求人募集はありませんでした。それで、隣の県である岐阜県の岐阜大学医学部附属病院からの求人があり、就職することにしました。しかし住めば都で、気が付いた時には結局 40 年間も住み続けることになり、今では、岐阜弁も達者な完全な岐阜県人となってしまいました。私は 38 年間岐阜大学医学部附属病院に勤務をしましたが、平成 4 年からは CT および MRI の主任となり、その後 20 年以上、CT と MRI に携わってきました。CT では、昭和 52 年に EMI 社製 CT 装置 CT-1010 が導入されましたが、当時は CT 室に脳神経外科の教授自ら、患者さんとともに訪れて一緒に撮影を行うなど、CT の出現は脳外科医にとって、なくてはならない装置となりました。また、MRI は平成 3 年に GE 社製 MRI 装置シグナアドバンテージ 1.5 が初めて導入されましたが、CT 以上にインパクトのある装置であり、その後の画像診断において、まさに MRI 診断学とでもいえる一分野を確立しました。また、平成 17 年にはフィリップス社製 MRI 装置クエサーデュアル 3.0 が導入されましたが、1.5T 装置と比較して、当初は T1 コントラストの相違や腹水や巨大嚢胞の症例における撮像には苦労しました。

さて、このたびの瑞宝双光章の叙勲に関しましては、もちろん私一人の功績によるものではなく、職場の先輩、同僚並びに後輩の諸氏のお力添えの賜と感謝申し上げます。また、今まで健康面や精神面で私を支えてもらった家族へ感謝の意を表したいと思います。また、今回の投稿の機会を与えていただきました学友会関係各位に感謝の意を表します。

最後になりましたが、京都医療科学大学ならびに学友会の今後益々の発展をご祈念いたします。

以上